

平成25年8月26日

「震災お助け専門家相談隊」による無料相談会開催報告書提出の件

一般社団法人復興支援士業ネットワーク
代表理事 磯脇 賢二

1. はじめに

東日本震災とその復興という大変な状況の中で、被災された皆様からの問い合わせや悩みにワンストップで対応するため、法律や生活相談の話に限らず、不動産・登記・税金・年金・雇用問題・失業問題・保険・事業資金調達・二重ローン問題など様々な問題を抱える被災者の方々のあらゆる相談に応じ、皆さんのストレスを少しでも和らげたい地域の皆様に寄り添って活動をしていくために、一般社団法人復興支援士業ネットワークは、市民を対象とした無料相談会を開催しました。

2. 一般社団法人復興支援士業ネットワークによる無料相談会について

主催 一般社団法人復興支援士業ネットワーク
後援 気仙沼市、気仙沼商工会議所、社団法人気仙沼観光協会、社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会、宮城県商工会連合会、宮城県行政書士会、東日本大震災事業者再生支援機構、プロジェクト・ニッポン、淑徳大学、千葉商科大学
協力 中央シティ税理士法人・助っ人みやぎ
日時 平成25年8月10日10:00～16:00
～8月11日10:00～14:00まで、
場所 気仙沼市役所 ワン・テン庁舎2階交流室

3. 来場者および当日のスケジュール

当日は、市内の仮設住宅を巡回しながら相談業務を行いました。2日間および事前相談をあわせて20件の相談でした。詳細は、別紙のとおりでございます。

日時等		場所
土曜日 AM10:00～PM4:00	①	気仙沼市役所 ワン・テン庁舎2階交流室および仮設住宅巡回
日曜日 AM10:00～PM2:00	①	気仙沼市役所 ワン・テン庁舎2階交流室および仮設住宅巡回

4. 相談内容

相談内容は、住宅および事業における二重ローン問題、土地贈与に伴う贈与税の取り扱い・相続における遺産分割協議および不動産の取扱・仮設住宅の生活環境・等などがありました。相談内容を分析致しますと、震災後いかに住居を確保して生活再建をはたすかにつきます。今回の相談で特筆すべきは、震災前の場所に引き続き住むにはどうしたらいいのか、事業を再開するにはどのようにしたらいいのかという質問が多くなりました。相談をされ方は、その場の対応で目的を達成したと感じられたようです。

5. プラン及び準備

東日本大震災で被災された皆様からの問い合わせや悩みに対応するため、法律や生活相談の話に限らず、不動産・登記・税金・年金・雇用問題・失業問題・保険・被災住宅の安全確保や修理方法・事業資金調達・事業再生・二重ローン問題など様々な問題を抱えております。そこで、気仙沼市・宮城県行政書士会をはじめ大学・NPOの協力を得て、気仙沼市内の会議室をメイン会場にする一方で、仮設住宅にお伺いをして被災された方の悩みを直接聞くことで被災者の方々の相談に応じる体制を作りました。

相談会開催に際しては地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解に重点を置きました。今回も、1,500枚のチラシを製作し、総合相談会開催の仮設住宅に直接チラシを配布して総合相談会開催をPRに務めました。

6. 総合相談会を開催して良かった点と反省点

良かった点

- ・ 相談内容は、相続という問題が生じています。相談をされ方は、その場の対応で目的を達成したと感じられたようです。
- ・ 相談にこられた方は、「話を聞いて頂き頂いて肩の荷が下りた」「それぞれの分野の人がいてよかった。」「話を聞いて頂いて安心した。希望が持てました。同様」などとかおおむね好評でした。
- ・ また今後もこのような機会があれば、ご相談したいですか？という問いに大部分の人が、又相談したいとおっしゃっておいりました。我々と致しましては、この声を励みにして、今後も活動していきたいと思っております。

反省点

- ・ 今後は、東北復興を志す団体・地元で活動する士業団体・NPO・企業との提携しながら相談会を実施する機会が増えてきます。提携を円滑にするための話し合いを十分にしていきます。
- ・ アフターフォローが著しくお粗末になってしまい、多くの方にご迷惑と不快感を与えてしまいました。そのところは大変申し訳なく思っております。

- ・ 継続的な相談には、電話が中心となりますが、今後の真摯に対応していきます。地元の人に必要な存在だといわれるようになっていきます。

7. 次回に向けての改善点

- ・ 今後も相続・住宅系 2 重ローン問題など生活に身近な問題が、話題として出てくると思います。継続的に専門家が、被災された人の悩み等話を聞く機会を継続的に開催していきます。
- ・ 総合相談会開催の事前告知に今後も重点的に力をいれていきます。チラシ配布する際には、ただ渡すのではなく、気仙沼市や気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼市内で活動する NPO 団体と協力して民生委員・児童委員・消防団の団長・地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解を十分得られることに重点をおいて、丁寧に渡すことを徹底したいと考察します。

8. おわりに

当社は、今後も気仙沼から東北復興を継続して応援させて頂きたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。